

第七十九回 帝國議會
衆議院

民法中改正法律案外一件委員會議錄(速記)第一回

會 議
昭和十七年二月三日(火曜日)午前十時三十
分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事原 惣兵衛君

理事松木 弘君

理事鹽川 正藏君

理事山本 桑吉君

池田七郎兵衛君

池田 清秋君

石坂 繁君

木村作次郎君

高橋 義次君

内藤 正剛君

野村 嘉六君

原 惣兵衛君

古島 義英君

一松 定吉君

北浦圭太郎君

松木 弘君

三田村武夫君

同日委員川副隆君辭任ニ付其ノ補闕トシテ

原夫次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 岩村 通世君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官 大森 洪太君

司法省民事局長 坂野 千里君

司法省刑事局長 池田 克君

司法省調査部長 齋藤 直一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

不動産登記法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

來ナインデアリマス、是等ノ私生子ノ中ニ

昭和十七年二月三日(火曜日)午前十時三十
分開議○野村委員長 ソレデハ是カラ開會致シマ
ズ——岩村國務大臣 只今議題トナリマンシタ民法中改正法律案ニ付キマシテ先づ御説明ヲ
致シマス本會議ニ於テ申述ベマシタ如ク、本案ハ私生子ノ名稱ヲ廢止スルト共ニ、父
又ハ母ノ死亡後ニ於ケル認知ノ途ヲ拓キ、人軍屬等ノ子ハ、一定ノ要件ノ下ニ父ノ戰
死後ト雖モ嫡出子又ハ庶子トナル途ガ拓カ
レタノデアリマスガ、之ニ依リマシテモ戰
死者ノ子ノ全部が救濟サレルニハ至ラナイ
ノミナラズ、一般ノ場合ニハ全ク其ノ途ガ
ナイノデアリマス、私生子ノ救濟ニ關シマ
シテハ立法上行政上多クノ考慮スベキ事項
ノミナラズ、一般ノ場合ニハ全ク其ノ途ガ
ナイノデアリマスガ、其ノ一ツシテ民
法、戸籍法等ヲ改正シ、私生子ト云フ名稱
ヲ廢止スルコトハ、多年各方面ヨリ要望セ
ト云フ名ヲ冠セラレ、戸籍ニモ私生子ト記
載サレルコトガ、本人ニ特ニ甚ダシイ苦痛
ノデアリマスガ、自ラハ何等咎ムベキモノ
ノナイ私生子ニ對シテ不必要ナル苦痛ヲ與
ヘ、或ハ又其ノ保護ヲ顧ミザルガ如キハ、
不當デアルト申サナケレバナリマセヌ、殊
ノ間ニ生レマシタ子ハ私生子トセラレ父又
婚姻ノ儀式ヲ舉ゲタ者モ戸籍ノ届出ラシ
ハ母ガ死亡シタ後ハ認知ヲ受ケルコトモ出
来ナインデアリマス、是等ノ私生子ノ中ニ

ハ出征軍人軍屬等ノ子デ、父ガ婚姻届又ハ

認知届等ヲスル暇モナク應召シテ戰死シタ

爲メ、嫡出子又ハ庶子トナルコトガ出來ナ

イ者モアルノデアリマシテ、此ノ意味ニ於

キマシテモ私生子ノ救濟ハ戰時下特ニ緊要

ナリト考ヘラレルノデアリマス、尤モ先般

公布セラレマシタ委託又ハ郵便ニ依ル戸籍

ノ届出ニ關スル法律ニ依リマシテ、出征軍

人軍屬等ノ子ハ、一定ノ要件ノ下ニ父ノ戰

死後ト雖モ嫡出子又ハ庶子トナル途ガ拓カ

レタノデアリマスガ、之ニ依リマシテモ戰

死者ノ子ノ全部が救濟サレルニハ至ラナイ

ノミナラズ、一般ノ場合ニハ全ク其ノ途ガ

ナイノデアリマス、私生子ノ救濟ニ關シマ

シテハ立法上行政上多クノ考慮スベキ事項

ノミナラズ、一般ノ場合ニハ全ク其ノ途ガ

ナイノデアリマスガ、其ノ一ツシテ民

法、戸籍法等ヲ改正シ、私生子ト云フ名稱

ヲ廢止スルコトハ、多年各方面ヨリ要望セ

ト云フ名ヲ冠セラレ、戸籍ニモ私生子ト記

載サレルコトガ、本人ニ特ニ甚ダシイ苦痛

ノデアリマスガ、自ラハ何等咎ムベキモノ

ノナイ私生子ニ對シテ不必要ナル苦痛ヲ與

ヘ、或ハ又其ノ保護ヲ顧ミザルガ如キハ、
不當デアルト申サナケレバナリマセヌ、殊

ノ間ニ生レマシタ子ハ私生子トセラレ父又

婚姻ノ儀式ヲ舉ゲタ者モ戸籍ノ届出ラシ

ハ母ガ死亡シタ後ハ認知ヲ受ケルコトモ出

来ナインデアリマス、是等ノ私生子ノ中ニ

ハ、民法ニ依リマスト家督相續人又ハ遺產

相續人タルベキ者ガ相續開始前ニ死亡シ、

又ハ廢除其ノ他ノ事由ニ依リ相續權ヲ失ツ

タ場合ニ於キマシテ、其ノ者ニ直系卑屬ガ

アレバ、其ノ直系卑屬が代ツテ相續人トナ

ルノデアリマスガ、大審院ノ判例及び戸籍

ノ實際ノ取扱ヒニ於キマシテハ、相續人タ

ルベキ者ノ死亡又ハ相續權喪失ノ當時胎兒

デアツテ、其ノ後ニ生レタ直系卑屬ハ代襲

相續人トナラスト解シテ居ルノデアリマス、

併シナガラ我ガ相續制度ノ精神ニ照シ、胎

児デアツタ者モ代襲相續人トナルモノトス

ルノガ適當デアリマシテ、此ノ點モ亦相續

人ノ戰死等ノ場合ニ、其ノ直系卑屬デ戰死

後ニ生レタ者ニ相續權ヲ與ヘル爲メ、特ニ

急速ニ改正ヲ要望セラレテ居ル次第ゴザ

イマス

次ニ不動産登記法中改正法律案ノ提案趣

旨ヲ御説明申上ゲマス、御承知ノ如ク曩ニ昭

和十五年七月家屋稅法ガ施行セラレ、本年一

月一日ヲ以テ全國稅務署ニ徵稅ノ基礎トナ

ル家屋臺帳ガ備へ付ケラレルコトニ相成リ

マシタ、之ニ依リマシテ建物登記簿ト此ノ

新タニ設ケラレマシタ家屋臺帳トノ間ニ、

恰モ彼ノ土地登記簿ト土地臺帳トノ關係ノ

如ク極メテ密接ナル連繫ヲ有スルコトト相

成リマシタ、仍テ茲ニ不動産登記法中建物

リマスガ、是非トモ改正ヲ必要トスルニ至

トト致シタイノデアリマス

ツタノデアリマス

付託議案
民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第七七號)

不動産登記法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第七八號)

本第ノ内客ハ三點ニ亘ツテ居リ、ノ一ハ、建物ニ付キ所有權ノ保存、移轉若クハ所有名義人ノ表示ノ變更ノ登記ガナサレタトキハ、登記所ハ其ノ旨ヲ家屋臺帳所管廳ニ通知スルコトヲ要スル規定ヲ設ケタ點デアリマス、其ノ二ハ、家屋臺帳ニ登錄セラレテ居リマス家屋番號ヲ建物ニ付テノ一般ニ建物ノ變更登記ノ申請書ニハ家屋臺帳謄本ヲモ添附スルコトヲ要スルモノトシ、且ツ未登記ノ建物ノ所有權ノ登記ハ専ラ家屋臺帳謄本ノ添付ニ依ツテ之ヲナスコトトシタ點デアリマス

改正ノ第一點ガ土地ノ場合ノ本法第十一條ノ規定同様、徵稅ノ迅速的確ヲ期スル爲ノモノデアルコトハ茲ニ御説明ヲ要シナイト恩ヒマス、第二點、第三點ハ、何レモ從來動モスレバ制度ノ不満ニ乘ジ、ニ重若シクハ假裝ノ登記ヲナシ、又ハ虛偽ノ登記ヲナシ、之ヲ利用シテ不正ノ利益ヲ圖ル徒輩ノ出ヅルヲ耳ニスルコト尠クナカツタニ鑑ミマシテ、之ヲ防止スル爲ニ家屋番號ヲ總テノ建物登記ノ表示欄ニ記載セシメ、且ツ未登記建物ノ所有權ノ登記ハ判決ニ依ル場合ノ外ハ、總テ家屋臺帳謄本ニ依ル證明ニ當ト認メ、此ノ趣旨ノ下ニ規定ノ改正ヲナレテ居リマセス、隨ヒマシテ本法ニ依ル改正規定モ家屋臺帳制度ガ家屋稅ヲ課セザル建物ニ適用セラレルマデト云フ意味合ニ於分ノ内家屋稅ヲ課セザル家屋ニ適用セラレントスルモノデアリマス、尙ホ家屋稅法ハ施行ニナリマシテモ、家屋臺帳制度ハ當分ノ内家屋稅ヲ課セザル家屋ニ適用セラレテ居リマセス、隨ヒマシテ本法ニ依ル改

○野村委員長 一寸御諮詢マスガ、質問
ハ民法中改正法律案ニ對シテ先づシテ戴イ
テ、之ヲ終了シテカラ不動産登記法ニ移リ
ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレントヲ希望致
シマス

○「異議ナシ」と呼ブ者アリ」

○野村委員長 ソレデハ逐條デハナシニ、
大體ノ説明ヲ政府委員カラシテ戴クコトニ
致シマス

○坂野政府委員 私カラ大體ノ御説明ヲ申
上げマス、本法ノ立案ノ趣旨ニ付キマシテ
ハ、只今司法大臣カラ大體御説明サレタ通り
デアリマス、要スルニ私生子ノ保護ト云フ
コトト、ソレカラ胎兒ノ代襲相續ニ付テノ
地位ノ改善、此ノ一點デアリマス、私生子
ノ保護ニ付キマシテハ、先づ第一ニ私生子ノ
名稱ヲ廢止スルト云フコトト、ソレカラ父
母ガ死亡シタ後ニモ認知ノ訴ヘガ出來ル、
斯ウ云フコトノ二點デアリマス、ソコデ私
生子ノ名ヲ廢止スルト云フコトハ、ドウ云
フ形ニ於テスルカト云フ問題デアリマス、
私生子ノ名ヲ廢止シテ、他ニ名ヲ持ツテ來
ルカト云フ點ガ考ヘラレルノデアリマスガ、
ドウモ色々々ノ名ヲ持ツテ參リマシテモ、又
ソレガ非常ニ良い名デアリマシテモ、長ク
使ハレテ居リマスト云フト、ヤハリドウモ
面白クナイヤウナ結果ニナリマスノデ、結
局他ノ事實ノ確定カラ推認サセル、斯ウ云
フ方法ニシタ方が宜イノデハナイカ、是ガ
大體ニ於テ臨時法制審議會デ考ヘラレタ所
ナノデアリマシテ、其ノ後司法省内ノ民法
改正調査委員會ニ於キマシテモ色々々研究致

シマシテ、ヤハリサウ云フ方同ニ持ツテ進
シマシタ結果出テ參ル結論デアリマシテ、
ソレガ改正ノ規定ノ各方面ニ現ハレテ居ル
譯デアリマス、此ノ點ハ特ニ申上ヌデモ
御諒承願ヘルコトト思ヒマス、ソレカラ第
二點ノ父母ガ死亡シタ後ニ認知ノ請求ガ出
來ルト云フコトデアリマスガ、現行法ノ解
釋ニ依リマスト、父母ガ死亡シタ後ハ出來ナ
イコトニナツテ居リマスノデ、此ノ點モ現在
ノ情勢ニ於キマシテ、所謂慣習上ノ儀式ヘ與
ゲテ居リマスガ、マダ戸籍ノ届出ハ濟マズ、
其ノ間ニ出來タ子供ガマダ届出ヲセヌ先ニ
父ガ亡クナルト云フヤウナコトデ、父ノ名
確定ガ出來ナイト云フヤウナ事情モ相當ゴ
ザイマスノデ、ソコデ父ガ死亡シタ——父ガ
母デアリマスガ、母ハ餘り問題ガアリマセ
スノデ、父ヲ主トシテ申上ゲマスガ、父ガ
死亡シタ後モ認知ノ訴へガ出來ルト云フ、
斯ウ云フ取扱デアリマス、所ガソレガ出來
ルトシテ永久ニスベキカドウカト云フ點ガ
問題デアリマシテ、是ハ色々議論ガアル譯
デアリマスガ、餘り長クナツテハ其ノ間ニ
合モ多々アリハシナイカト云フ所カラ、打
切ツタ方ガ宜イ、打切ルトスレバ五年ニス
ルカ三年ニスルカト云フ點モ色々論ジラレ
タ譯デアリマスガ、民法改正調査委員會デ
色々ナ意見ノ検討ヲ致シマシテ、差當リ三
年ガ妥當デハナカラウカ、斯ウ云フ所カラ

三年ト云フコトニ致シタ譯アリマス
現在普通ノ家督相續ニ付キマシテ、或ハ遺
産相續ニ付キマシテハ、胎兒ハ既ニ生レタ
モノト看做サレル、斯ウ云フコトニナツテ
居ルノデアリマスガ、代襲相續ニ付キマシ
テモ、アノ規定ガ適用サレルカドウカト云
フ點ニ相當議論ガアリマシテ、大體判例ノ
進ミ方ハ代襲相續ニ付テハ適用ガナイト云
フコトニナツテ居ル譯デアリマシテ、此ノ
點ニ於テハドウモ實際日本ノ長子相續ノ系
統ヲ押シテ行クト云フ建前カラ言ヘバ、ド
ウモサウ云フ結論ハ妥當デハナインヂヤナ
イカト云フコトガ考ヘラレマス、現ニ今回
ノ事變ニ於キマシテモ、サウ云フ場合ノ例
ガ色々出テ參リマスノデ、現ニ昨年ノ七十
六議會ノ際ニ古島議員カラモ御指摘ガアツ
タヤウナ次第デアリマシテ、是ハ御尤モナ
コトデヤナカト考ヘマス、色々研究モ致
シマシタ結果、ヤハリ此ノ代襲相續ニ付テ
モ「胎兒ハ既ニ生マレタルモノト看做ス」斯
ウ云フヤウニ致シテ行クトノガ妥當アル、
斯ウ云フコトカラ規定ヲ盛ツタ次第ナノデ
アリマス、ソレガ主タルモノデアリマシニ、
ソレニ從ヒマシテ附則ト戸籍法、ソレカラ
人事訴訟手續法、斯ウ云フモノノ改正ガ出テ
參ツタ譯デアリマス、特ニ附則ニ於テハ此
ノ認知ノ訴ガ本法施行前ニ於テ父母ガ死ン
ダ場合デモ起セル、斯ウ云フコトニ致シマ
シタノト、ソレカラサツキノ代襲相續ノ規
定ガ本法施行前ニ代襲相續ノ事實ガ發生シ
タ場合ニモ適用サレル、但シ家督相續ガ開
始致サレマシタ後ニソレガ適用サレマシテ
ハ、色々弊害モ起ルコトト考ヘマシテ、
其ノ點ハ除キマスガ、其ノ他ハ遡及サセル、

斯ウ云フコトニ致シマシタ、ソレカラ戸籍法ノ點ハ皆サン能ク御承知デアリマスカラ略シマス、認知ノ訴ノ人事訴訟法ニ於キマンテハ、其ノ場合ニ若シ父母ノ死亡シタ後ニハ相手方ヲドウスルカ、之ヲ検事ヲ以テ相手トル、斯様ナ建前ヲ執ツタ譯デアリマス、是デ比ノ法案ヲ提出致シマシタ主要ノ點ノ

拘ニ憂フベキ状況ダト私ハ思フノデアリマス、今マデ未ダ曾テ二百万ヲ割ツタコトハ全然アリマセヌノニ、十三年ニナツテ初メテ二百万ヲ割ルコトニナツタ、斯フ云フ風ニナツテ参リマスト、若シ茲ニ發表ニナイテ十四年、十五年、十六年ト云フヤウ年代ハ是ヨリハ更ニ減ツテ居ルノデハアルマイカ、

○野村委員長 速記ヲ止メテ下サイ
〔速記中止〕

相續ノ問題ニナリマスト、我ガ國固有ノ慣習ト密接ナ關係ガアリマスルカラ、多々調査ヲシナケレバナラナイ點モアツタノデアリマス、而モ其ノ他ニ御承知ノ商法改正、殊ニ會社法ノ改正、此ノ問題ガ中間ニ起りマシテ、之ヲ先ニヤル必要ガ生ジマシタノデ、自然ソレニ押サレマシテ、今日マデ延

御説明ト致シマス
○野村委員長 ソレデハ通告順ニ從ツテ——
古島君

○坂野政府委員 只今ノ表ノコトニ付テダ
ドウシテ斯フ云フ風ニ減ツテ居ルノカ、其
ノ點ノ御説明ヲ願ヒタインデアリマス

デアリマスガ、民法ノ如キハ殊ニ古イノデ
明治二十九年ニ出来タ法律デ、而モ三十二
年ニ是ガ施行サレテ居ルノデアリマス、年

引ヲシテ居ルト云フ状況デアリマシテ、此ノ點ニ付テハ恐縮ニ存ジテ居ルノデアリマス、只今御指摘ニナリマシタ親族、相續ノ

○古島委員 私ハ大臣ガ幸ニオイデデア
リマスルカラ、大臣ニ一言承ツテ置キタ
イノデアリマス、頂戴致シマシタ身分
別調査表ニ依リマスト、昭和四年カラ
昭和十三年マデノ調査ガ出テ參ツテ居ルヤ
ウデアリマス、最近ノ十四年後ガ出テ居ラ
スヤウデアリマスガ、是ハ出セルモノナラ
バ出シテ戴キタイノデアリマス、ソコデ今
日マデ出テ居リマスル此ノ調査表ニ依リマ
スト、昭和四年カラ昭和十三年マデ十年間
デアリマスガ、十年間ト申セバ恐ラクハ日
本ノ國民ガ九百万人カラ一千万人ハ殖エテ
居ルト概算ガ出来ルノデアリマス、約一千
萬人人口ガ殖エテ居ルノデス、尙も出產率カ
ラ申シマスルト、昭和十三年度ガ昭和四年
ニ劣ツテ居ルノデアリマス、是ハ同ジ人達
ガ同ジク出產スルノデアルナラバ、多少ノ増
減ガアリマシテモ、餘り甚ダシイコトニハ
ナラヌノデス、所ガ昭和四年ト昭和十三
年トデハ人口ガ一千万人達フニ拘ラズ、尙
ホ昭和四年ノ出產率ガ二百七万七千人、昭
和十三年ニナツニ二百万ヲ割ツテ僅カ百九
十二万人ト云フコトニ減ツテ參ツタノデア
リマスガ、此ノ傾向ヲ以テ減ルト云フコト
ニナリマスレバ、日本ノ前途ト云フモノハ

ケ私カラ御説明申上ゲマス、十三年マデニ
致シテアリマスガ、此ノ十三年マデノハ内閣
ノ統計ニ依ツテ出シタ譯デアリマス、内閣
統計局ノ調査ニ依リマスト、昭和十四年モ
出来テ居ルノデゴザイマスガ、十四年以後ハ
是ハ機密ニ屬スルト思ヒマスカラ發表ヲ禁
ズル斯ウ云フコトニナツテ居リマスノデ、
十四年マデノ調査ハゴザイマスガ、十三年
マデノ表ヲ作ツテ御手許ヘ差上ダタ譯デア
リマス、此ノ十四年ノ點ハ調査ガゴザイマ
スノデ、速記ヲ御止メ下サイマスレバ申上
ゲテモ宜イノデス、是ハ貴族院デモ申上ゲ
タノデゴザイマスガ、速記ヲ止メテ御聽キ
下サレバ申上ゲマス

○野村委員長 速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○古島委員 此ノ人口問題ハ日本ノ國策上
由々シキ大事デアリマスノデ、何カ斯ウ云フ
風ニ減ツテ參ツタコトニ付テ大臣ハ御氣付
ノ所ガアリ、ドウ云フ事情カラスウナツテ參
ツタカト云フコトヲ御説明願ヘレバ洵ニ結
構ダト思ヒマス

○岩村國務大臣 人口ノ増減ニ關スルコト
ハ私實ハ詳シク承知致シテ居リマセヌガ、
唯私ノ知リ得テ居リマスルコトダケ申上ダ

年歲々少數ノ一部分ヅツハ改正サレルノゴアリマスガ、モウ其ノ中デ少シバカリノ改正ヲ致シマシテモ、中々モノニナラナイ、デアリマス、殊ニ親族法ト相續法ニ至リ、シテハ其ノ感ヲ深カウ致スノデ、司法省ニ於キマシテモ民法改正調査委員會ト云フノヲ設ケテ、而モ二百回モ小委員會ヲ開ケテ、サウシテ四百何十箇條ハ起草ヲシタ、云、フコトハモウ昨年ニ承ツタノデアリマス、四百何十箇條親族法ト相續法テ起草ガ出来テ居ルトスレバ、恐ラク全部出來テ居ル、デハアルマイカ、今日ノ法律カラ申シマテモ、七百二十五條カラ千四十何條マダニカナイノデアリマスカラ、之ヲ差引キ致マスト、丁度四百四十五條シカナイ譯デマリマス、所ガ四百何十箇條出來ダト云フ、デアリマスカラ、大體出來テ居ルノデハイカト思ヒマスガ、若シ出來テ居ルトスルバ、ソレヲ御示シヲ願フト洵ニ結構ダト甲ヒマス

問題ニ付キマシテ、成程私共ノ方デ委員會ニ於ケル一應ノ成案ハ得マシタ、デアリマスルカラ一應完結ハシタノデアリマスルガ、儲テ振返ツテ考ヘテ見マスルト、其ノ中ニモ相當修正ヲ要スル必要ノアルモノヲ發見シツツアルノデアリマス、御承知ノヤウニ世ノ中ノ有様ハ段々ト變更シテ居リマスルカラ、數年前ノ改正ガ今日ニ間ニ合ハナイマ点モアリマシテ、一應ノ成案ハ得マシタケレドモ、更ニ再検討ヲシタイト思ヒマシテ、今其ノ再検討ニ從事中デアリマス、相當確信ヲ得タ案が出來マスルナラバ、勿論早速公表ヲ致シマシテ、世間ノ批評ヲ仰イデ、サウシテ議會ニ提出スル運ビニ致シタイト存ジテ居ルノデアリマス、デアリマスクカラ公表シ得ル機會ニナレバ、勿論早速之ヲ公表シタイト云フコトニ付テハ、明カニ此處ニ申上ゲテ置クノデアリマス、今日一應ノ成案ハ得マシタケレドモ、更ニモベナケレバナラナイモノガ多々アル、斯ウ云フヤウニ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス〇古島委員 御説明デ能ク分リマシタガ、恐ラク私ガ耳ニ致シマシタノハ、大森次官ガ民事局長時代カラ是ハサウ云フコトテ際着シテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、

統計局ノ調査ニ依リマスト、昭和十四年モ
出来テ居ルノデゴザイマスガ、十四年以後ハ
是ハ機密ニ屬スルト思ヒマスカラ發表ヲ禁
ズル斯ウ云フコトニナツテ居リマスノデ、
十四年マデノ調査ハゴザイマスガ、十三年
マデノ表ヲ作ツテ御手許へ差上ゲタ譯ニア
リマス、此ノ十四年ノ點ハ調査ガゴザイマ
スノデ、速記ヲ御止メ下サイマスレバ由上
ゲテモ宜イノデス、是ハ貴族院デモ由上ゲ
タノデゴザイマスガ、速記ヲ止メテ御聽キ
下サレバ申上ゲマス

デアリマス、殊ニ親族法ト相續法ニ至リ
シテハ其ノ感ヲ深カウ致スノデ、司法省ニ
於キマシテモ民法改正調査委員會ト云フノ
ノヲ設ケテ、而モ二百回モ小委員會ヲ開キ
テ、サウシテ四百何十箇條ハ起草ヲシタ、
云フコトハモウ昨年ニ承ツタノデアリマス、
四百何十箇條親族法ト相續法デ起草ガ出来
テ居ルトスレバ、恐ラク全部出來テ居ル、
デハアルマイカ、今日ノ法律カラ申シマ
テモ、七百二十五條カラ千四十何條マデ
カナインノデアリマスカラ、之ヲ差引キ致
マスト、丁度四百十四五條シカナイ譯テマ

堵テ振返ツテ考ヘテ見マスルト、其ノ中ニモ
相當修正ヲ要スル必要ノアルモノヲ發見シ
ツツアルノデアリマス、御承知ノヤウニ世ノ
中ノ有様ハ段々ト變更シ進歩シテ居リマス
ルカラ、數年前ノ改正ガ今日ニ間ニ合ハナイ
ト云フ點モアリマシテ、一應ノ成案ハ得マ
シタケレドモ、更ニ再検討ヲシタイト思ヒ
マシテ、今其ノ再検討ニ從事中デアリマス、
相當確信ヲ得タ案が出來マスルナラバ、勿
論早速公表ヲ致シマシテ、世間ノ批評ヲ仰
イデ、サウシテ議會ニ提出スル運ビニ致シ
タイト存ジテ居ルノデアリマス、デアリマ
スカラ、爰ノ尋ニ幾々ニミ、力企當直

○古島委員 速記中止

リマス、所方四百何十箇條出來タト云々、デアリマスカラ、大體出來テ居ルノデハ、イカト思ヒマスガ、若シ出來テ居ルトス、

スカラ公表シ得ハ機會ニナレバ、ク詣ト道
之ヲ公表シタイト云フコトニ付テハ、明
カニ此處ニ申上ゲテ置クノデアリマス、今
日一應ノ成案ハ得マンタケンドモ、更ニ者

風ニ減ツテ參ツタコトニ付テ大臣ハ御林木ノ所ガアリ、ドウ云フ事情カラスウナツテ參ツタカト云フコトヲ御説明願ヘレバ洵ニ結

ハソレテ御シテ廟ノト治ニ絶骨タリ
ヒマズ

○岩村國務大臣 人口ノ増減ニ關スルコトハ私實ハ詳シク承知致シテ居リマセヌガ、
准弘ノ印リ得テ居リマスレコトダケ申上アズ

慙愧ニ存ジテ居ル、次第アリマス、御承知ノ通り既ニ二十年程前ニ民法改正ニ着手シタノデアリマスルガ、殊ニ其ノ親族

恐ラク私ガ耳ニ致シマシタノハ、大森次官
ガ民事局長時代カラ是ハサウ云フコトテ閣
着シテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、

ソコデ時代ノ進運ニ副フ爲ニハ、ソレヨリ
ハ一步早クヤラナケレバナラヌ、時代ノ方
ガドンハ進ンデ參ツテ、此ノ改正案ノ起草
ノ方ガ段々遅レルト云フコトニナツテハ、
是ハ何年經ツテモ發表スルマデノ程度ニ達
セヌノデハアルマイカ、是ハ私ノ心配ダケ
デアリマスガ、若シサウ云フコトガアツタ
ラバ、外ノコトヲ儲テ措イテモ是ハヤラネ
バナラヌ事業デアリマスカラ、一段ノ御骨
折ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

云フモノガアル譯ニアリマス、斯ウナルト
何時マデ参リマシテモ嫡出子ト同格ニシナ
イ限リハ、此ノ私生子ト云フノハ言葉ガ變
ルダケデ、同様ナ苦痛ヲ感ズルヤウナコト
ニナルノデハアルマイカ、斯ウナリマスガ、
唯子ト云フダケデナク、寧ロ嫡出子ノ方ニ
何カ手ヲ着ケルト云フヤウナ考ハ出ナカツ
タモノニアリマセウカ、此ノ點承リタイノ
ニアリマス

○古島委員　此ノ私生子ノ廢止スルニ當ツテ、戰時ニ何カ緊急已ムヲ得ナイ、ドウシテモ此ノ時機ニ之ヲ變へナケレバナラヌト云フヤウナ急迫ナ事情デモアツタノデアリシバ、一般ノ民法ノ改正ノ際ニ是ハ持出シテ宜イモノデ、今日ノ此ノ戰時ニ特ニサウ云フ必要ガアツタト云フナラバ、ドウ云フ風ナ事情ガアツタノカ、ソレヲ承リタイ〇大森政府委員　本案ヲ此ノ議會ニ御審議ヲ願ヒマスル理由ヲ率直ニ申上ゲタイト思ヒマス、成程私生子ノ名稱ヲ廢止スル問題ハ數十年來ノ問題デアリマシテ、御説ノ通リニ、或ハ民法全般ノ改正ト共ニ致シテモ宜カツタノデアリマセウ、然ルニ御承知ノ通リノ戰時デアリマシテ、多數ノ方ガ第一線ニ活躍ラシテ居ラレルノデアリマス、サウ云フ方ガ、事實上正當ニ結婚ハシテ居ラレマシタノデアリマスケレドモ、届出ノ暇ガナクシテ出征ヲサレルト云フコトモ相當アルヤニ伺フノデアリマス、尤モソレニ付キマシテハ、御承知ノ通リニ、支那事變勃發ト同時ニ、司法省民事局ニ於キマンニ通牒ヲ出シマシテ、戰地カラ委託ニ作ル届出ガ有效デアルト云フ取扱ヒヲ致シマシタ、後ニ是ガ御協賛ヲ經マシテ法律化サレマシタ、ソレガ爲ニ大變工合ガ宜クナツタノデアリマスルケレドモ、マダ此ノ兵馬倥偬ノ間デアリマスルカラ、届出ヲスル機會モナク名譽ノ戰死ヲ遂ゲラレル方モ相當アルヤニ私共推察ヲ致スノデアリマス、サウ云フ名譽アル戰死者ガ、自分ノ子供ガ私生子ト云フ名前ガ冠セラレテ戸籍ニ殘ルト云フコトハサゾヤ殘念ニ御思ヒニナルコトデアリマセウ、之ヲ考ヘマシテ、戰時中心ノ法

律ヲ議シテ戴ク議會ハアリマスルケレドモ、少クトモ此ノ問題コソ捨置キ難キモノ、ダト思ヒマシテ、此ノ立案ヲ見ルニ至ツタ次第デアリマス、右事情ヲ率直ニ申上ガタ、次第デアリマス

○古島委員 能ク分リマシタ、所ガ實際ハソレニ反スルノデアリマシテ、頂戴致シタ此ノ表ニ依リマシテモ、昭和四年ニハ二分七厘ノ私生子ガアリマス、其ノ後二分六厘、二分五厘ト云フヤウニ二分以上ノ私生子トナツテ居ルノデアリマス、所ガ昭和十一年、事變ノ始マル直グ前ノ年ニハ是ガ二分ニ減ツテ居リマス、事變ノ始マツタ年ニハ一分八厘ニ減ツテ居リマス、十三年ニハ更ニ一分七厘ニ減ツテ居ルノデアリマス、届出ガ出來ナイノデ已ムヲ得ズ私生子ガ出來ルト云フヤウナコトガ御心配デアルナラバ、此ノ十二年ナリ十三年ハ恐ラク殖エナケレバ、ナラヌノデアリマス、所ガ十一年、十二年、十三年ト云フヤウニ、以前ニ二分七厘モアツタモノガ、二分ヲ割ルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマスルカラ、此ノ私生子ノ率ト云フモノハ順次減リツタル、其ノ減リツタル時ニ早急ニ出シタノデアルカラ、今ノ出征兵士ガ届出ヲセズニ出征シテシマツテ已ムヲ得ズ私生子ト云フコトニ届出タト云フコトハ一寸當ラナイヤウニ思フノデアリマスルガ、其ノ點ハドウデアリマスカ

○大森政府委員 只今私ノ申上ゲ方ガ不十分デアリマシタガ爲メ、其ノ御疑念ヲ抱ケレタコトト存ズルノデアリマス、此ノ表デ御覽ノ通リニ、昭和十二年以後私生子ノ割合ハ確カニ減ツテ居リマス、此ノ減リマシタ理由ハ種々アリマセウケレドモ、惟フニ先

程申上げマシタ司法省ノ通牒、即チ戰地力委託ニ依ル届出ヲ有效トスル旨ノ通牒、是ガ相當效イテ居ルト思フノデアリマス、ソレカラ先程申シマシタ委託ニ依ル届出、此ノ法律實施後、是亦非常ニ效フ奏シテ居ルト思ヒマス、然ラバソレデ總テ解決サレルカト申シマスト、サウヂヤナイ、今申シマシタ通リニ、兵馬倥偬ノ間デ届出ノ暇モナクシテ戰死ヲサレルト云フ方モ相當アルト推察ヲ致シマス、是ハ統計上ノ數ハ分リマセヌケレドモ、絶無デハナイト思ヒマス、セメテ是ダケデモ助ケタイト云フノガ吾々ノ考ヘデアリマス、左様ナ次第ヲ御諒承願ヒタイノデアリマス。

○古島委員 能ク分リマシタ、ソコデ承リタイノデアリマスガ私生子ト云フモノヲ戸籍ノ原本カラ抹殺スル爲ニハ、何カ司法省デハ特ニ申請ガアツタ時ニ抹殺スルト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマスガ、申請ナクシテ抹殺スルヤウナコトハナイノデアリマスカ、ドウシテモ申請シナケレバ抹殺ガ出来ヌノデアリマスカ、其ノ點承リタイ

○大森政府委員 理想的ニ申シマスレバ、若シ此ノ法律案ガ協賛ヲ經マシテ實施ニ相成リマスルナラバ、其ノ曉ニ全國一齊ニ私生子ノ名稱ヲ抹殺シ去ルコトが頗る結構デアラウト思フノデアリマス、併シ之ニハ手ガ足リナインデアリマス、多數ノ戸籍簿ニ就テ一々ドレガ私生子ノ名稱デアルカト云ガ、其ノ他曆本、抄本ノ請求ノアリマシタフコトヲ點検シテ參リマスルコトハ不可能ト存ズルノデアリマス、デアリマスルカラ、申請ガアリマシタ場合ハ勿論デアリマスル場合ニ、氣ガ付キマスルナラバ是ハ自發的ニ抹消致シマス、ソレカラ又戸籍簿ガ古ク

マツテ改正ヲスル、或ハ又、不祥事デハアリ
ト云フヤウナ場合ニハ、勿論申請ガナクト
モ進ンデコチラデヤル積リデアリマス、要
スルニ凡ユル利用シ得ル機會ヲ利用致シマ
シテ抹殺スル積リデアリマスルケレドモ、
一齊ニ總テ悉ク抹殺シ去ルト云フコトハ御
勘辨願ヒタイト存ズルノデアリマス
○古島委員 申請ガアレバ勿論、申請ノナ
イ場合ニハ、氣ノ付イタ時ニ之ヲ抹殺スル
ト云フノデアリマスガ、謄本、抄本等ヲ下
付願フ致ス、其ノ時ニ、謄本ヲ書ク際ニ、
或ハ抄本ヲ書ク際ニ氣ガ付イタ、斯ウ云フ
コトハサウアルモノデハナイト私ハ思フノ
デアリマス、又幸ヒニアルニ致シマシテモ、
謄本、抄本ヲ書クノハ其ノ主任ガ書クヤウ
ナコトハ稀ナノデアリマス、實際ノ實況ヲ下
申シマスルト、雇デアルトカ、或ハ給仕デ
アルトカ云フ程度ノ者ガ、謄本、抄本ヲ實
際ハ書クノデアリマス、其ノ人達ガ氣ガ付
イテモ、恐ラクハ實際見テモ雇デアルトカ
給仕デアルトカ云フヤウナ人達ハ、見逃シ
テシマフノデハアルマイカ、法律ノ改正等
ハ存ジマセヌ、又法律的ノ觀念モアリマセ
ヌカラ、見逃シテシマフヤウナコトガ多イ
ノデハナカラウカ、サウ云フコトニナルト、
ヤハリ謄本ニ私生子ト云フコトガ書カレタ
ノガ下付サレル、斯ウナレバ全ク困ツタモノ
デアリマスガ、其ノ點ハ、給仕若シクハ屋等
ニ能ク言ヒ付ケテ、見掛ケ次第之ヲ削ルト
云フ風ナコトニ致スノデアリマセウカ、ド
ウデアリマセウカ

モ、サウ云フ場合ハ海ニ恐縮アリマスガ
萬々左様ナコトノナイヤウニ凡ソ私生子ト
云フ名稱ノアリ次第凡ユル機會ヲ利用シテ
之ヲ抹殺スルト云フコトニ努力ヲ致シタイ
ト存ジマス

○古島委員 實際書キマスル給仕、雇ト云フ
ヤウナ者ガ其ノ場デ之ヲ抹殺シテ宜シイノ
デアルカ、ソレトモ何カ上司ノ意見デモ聽
イテ抹殺スルヨコトニ致シマスカ、ソコハド
ウ致シマスカ

○大森政府委員 戸籍主任ト十分連絡ヲサ
セマシテ、其ノ指揮ヲ受ケテ抹殺サゼルコ
トニ致シタイト存ジテ居リマス

○古島委員 サウ致シマスト、實際、戸籍ノサ
訂正ノ實質ヲ持ツテ居ルノデアリマス、詩
リ言ヘバ、私生子ト云フノハ戸籍ノ原本ニ
書イテアル、其ノ原本ニ書イテアル私生子ト
云フノヲ、私生ダケヲ取ツテ子トスルノデア
リマスルカラ、ヤハリ戸籍ノ訂正ト云フコ
トニナル、一般戸籍ノ訂正ニアリマスレバ、
僅カニ違ツテ居ルコトヲ發見シテモ、ソレ
ガ法律上許サレルコトデアツテモ、所轄裁
判所ノ許可ヲ得ナクンバ訂正ガ出來ヌノデア
リマス、是ハ戸籍法ヲ改正ヲ致シテ許可
ヲ得ヌデモ尙ホ訂正ガ出來ルト云フコトニ
デモシナケレバ、見掛ケ次第片端カラ之ヲ
消シテ行クト云フコトハ事實上出來ヌコト
ダト思ヒマス、若シソレヲ事實上ヤルト云
フコトニナレバ、戸籍法ノ何條デアリマス
カ、兎ニ角管轄裁判所ノ許可ヲ得テ訂正セ
ヨト云フコトニナツテ居リマスガ、ソレト瓶
觸スルコトニナルノデアリマス、サレバト
云ツテ、一々之ガ許可ヲ得テ居ルト云フコト
ニナレバ、時間ガ掛ツテドウニモナラスト
云フコトニナリマス、ソコハ法律ニモ抵觸

ト云フ何カノ法律デモ拘ヘナケレバ是ハ出来ヌノデハナイカ、其ノ邊ヲ伺ヒタイ○大森政府委員 極メテ嚴密ニ申シマスルナラバ、御指摘ノヤウナ法律上ノ戸籍訂正ノ手續ニ依ルト云フノガ宜イノデアリマセウ、併シ法律デ既ニ私生子ト云フモノガ子ト云フコトニ戸籍簿上ナルンダト云フコトニ相成リマスレバ、是ハ極メテ形式上ノ問題題デアリマスカラ、ウルサイ戸籍訂正ノ手續ニ依ラズシテ、此ノ事實上ノ訂正が出来ル斯ウ云フ解釋ヲ以テ進シテ行キタイ積リデアリマス併シソレ等ニ付キマシテ或ハ疎漏ヲ生ズルトカ間違ヒラ生ズルト云フ虞モアリマスカラ、是ハ篤ト吾々ノ方デ嚴戒シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス○吉島委員 能ク分リマシタカラ其ノ點ハソレデ打切ツテ置キマス

次ニ承リタイノハ是ハ年來問題ニナツテ、昨年モ坂野民事局長ト大分御相談願ツタノデアリマスガ、代襲相談ノ問題デアリマス本年此ノ法律ガ出マシタコトハ洵ニ結構ニ私ハ思フノデアリマスガ、實際ハ此ノ法律ダケデハ餘リ面白クナインデアリマス、大審院ノ判決ヲ能ク観味シテ見ルト、私ハ大審院ノ判決ニモ一理アルコトデ、人情ニ一致シタ判決ダト思フノデアリマス、此ノ判決ヲ活カスト云フコトノヲ考ヘルノコソ本當ノ法律ノ精神ニ副ノデハアルマイカト思フノデアリマスガ、昨年坂野民事局長ハ、司法省ニ代襲相談ハ胎兒ト雖モ出來ルノダト云フ解釋ヲ執ツテ居ル、學者ノ通説モ皆サウ云フ風ニナツテ居ルヤウニ思料スル、併シナガラ卒然シテ茲ニ大審院ノ判例ニ反スルヤウナ法律

ヲ捨ヘルト云フコトハドウカト思フカラ、是ハ司法省トシテハ出來マセント云フコトニ御答ヘヲ願ツテ居ルノデアリマス、所ガ卒然デナイニシテモ、一箇年過ギタノデアリマスカラ此ノ邊デ改正シテ吳レルコトハ洵ニ有難イノデアリマス、大審院ノ判決ニ全而的ニ反対スルヤウナ此ノ改正案ハ、ドウモ實際ト副ハヌヤウニ思フノデアリマスガ、實際ニ副フト云フ思召デ出シタノデアリマスカ、ソコヲ承ツテ置キタイト思ヒマス○坂野政府委員此ノ點ハ昨年ノ議會古島サンカラ御尋ネガアツタノデアリマスガ、大審院ノ判例モ是ハ法理論デ行ツテ居ルノデアリマシテ、斯様ニ長男ノ胎兒ガ代襲相續ヲスルト云フ本質的ニサウ云フコトガ適當デヤナイ、斯ウ言ツテ居ルノデハナイモノト私ハ考ヘテ居リマス、是ハヤハリ先般古島サンカラモ御指摘ガアツタヤウニ、長男ノ子供ガ引續イテ相續シテ行ク、斯ウ云フコトガ適當ナンダラウ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、サウ云フ意味ニ於テ此ノ規定ヲ設ケタ譯デアリマス

○古島委員 大審院ノ判決ヲ兎ヤ角批評シテ見タ所デ仕様ガナインデアリマスガ、アノ判決ハ相續人排除ノ時ノ判決デアルカラ、是ハマア司法省デ何等ノ疑ヒヲ持タナイトオ互ガ承知シテ居ルノデアリマス、ソコデ相續人ヲ排除スルニ當ツテ、或ハ養子ヲ貰ツテ、養子ガ子供ヲ持ツテ居ルノニ、養子ガ既ニ離婚致シタノデアリマスガ、其ノ子供ガ胎兒デ居ルト云フ時ニアノ判決ガ出タノデアリマス、サウスルト養子ヲ離婚シテ尙ホ代襲相續ガ行ハレルト云フコトニナルト、養子ニ相續サセナイト云フ意思表示ガ、其ノ子供ニ依ツテ今度相續サレル

ト云フコトニナツテハ、離縁ヲ致シタ所ノ目的ヲ達シナイト云フ人情ガ手傳ツテノ判決ト思フノデアリマス、法理論ニ行ケバ豫ネテカラサウ云フ風ニ解釋シテ居ルト言ツタ其ノ方ガ正當デアツテ、大審院ノ判決ト方ガ間違ヒデアリマス、併シ大審院ノ判決ト雖モ只今申シタヤウニ養子ハ離縁シタガ其ノ子供ハマダ胎兒デ居ツタ、ソレニ相續サセネバナラスト云フコトニナツテハ、ソレハ實際ノ人情ニ副ハヌノデアリマスカラ、人情上胎兒ハ相續權ガナイ、斯ウヤツタト私ハ思フノデアリマス、ソレヲ司法省ハ正直ニ受ケテ、何デモ胎兒ハ相續權ガナインドト言ウテ大分問題ニナリマシタノガ昭和十二年ノ頃、恐ラクハ此ノ頃ハ大森サンガ民事局長デオイデノ時デハナイカ、大森サンノ手カラ其ノ通牒ガ行ツタノデハナイカト思ヒマスガ、是ハ私書イテ持ツテ來タノデスガ、胎兒ハ相續權ガナイト云フヤウナコトヲ言ツテ、戸籍及ビ寄留ノ議會ニ對シ回答ヲ出シテ居ル、胎兒ハ直系卑屬ノ中ニ含マレナイモノト思料ス、此ノ段回答申上候ト云フヤウナ回答ガアル、ソレカラ斯ウ云フ問題ニナツタノデアリマス、ソコデ遍モ判決ガアリマスルト、立法ノ方法ヨリコトニナツタ考ヘル、ソコデソレヲ救答シテ居リマシタケレドモ、ソレハ斯ウ云大審院ノ判例ニ從フト云フコトガ、司法省ノ態度トシテモ執ルベキ所デヤナイカ、サレテ居ル次第デアリマシテ、サウ云フ状態ニナリマスルト、司法省ト致シマシテハ、

○古島委員 御説明御尤モデアリマスガ、方カラ自分ノ意思ニ依ツテ相續人ヲ排除シタ云フヤウナ場合ハ、大審院ノ判決ガ宜イノデアリマス、又被相續人ノ意思ニ依ラザル戰死デアルトカ、死亡デアルト云フヤウナ時ニハ、司法省及ビ學者ノ通說ガ正當デアツテ、何レヲモ活カスヤウニセネバ本今度ハ法案ニ付テ一言承リタイノデアリマス、成程サウ云フ御考ヘカラコチラニ出シマシタヤウナ此ノ法案ヲ出シマスルト、ドウカラ自身ノ意思ニ依ツテ相續人ヲ排除シタノガ間違ヒナゾ、サウ云フ被相續人ノ方カラ自ら譯デアリマス

○古島委員 御説明御尤モデアリマスガ、方カラ自分ノ意思ニ依ツテ相續人ヲ排除シタ云フヤウナ場合ハ、大審院ノ判決ガ宜イノデアリマス、又被相續人ノ意思ニ依ラザル戰死デアルトカ、死亡デアルト云フヤウナ時ニハ、司法省及ビ學者ノ通說ガ正當デアツテ、何レヲモ活カスヤウニセネバ本

ト云フコトニナツテハ、離縁ヲ致シタ所ノ目的ヲ達シナイト云フ人情ガ手傳ツテノ判決ト思フノデアリマス、法理論ニ行ケバ豫ネテカラサウ云フ風ニ解釋シテ居ルト言ツタ其ノ方ガ正當デアツテ、大審院ノ判決ト方ガ間違ヒデアリマス、學者ノ通說モ司法省デ思フノデアリマス、學者ノ通說モ司法省デ豫ネテカラサウ云フ風ニ解釋シテ居ルト言ツタ其ノ方ガ正當デアツテ、大審院ノ判決ト方ガ間違ヒデアリマス、併シ大審院ノ判決ト雖モ只今申シタヤウニ養子ハ離縁シタガ其ノ子供ハマダ胎兒デ居ツタ、ソレニ相續サセネバナラスト云フコトニナツテハ、ソレハ實際ノ人情ニ副ハヌノデアリマスカラ、人情上胎兒ハ相續權ガナイ、斯ウヤツタト私ハ思フノデアリマス、ソレヲ司法省ハ正直ニ受ケテ、何デモ胎兒ハ相續權ガナインドト言ウテ大分問題ニナリマシタノガ昭和十二年ノ頃、恐ラクハ此ノ頃ハ大森サンガ民事局長デオイデノ時デハナイカ、大森サンノ手カラ其ノ通牒ガ行ツタノデハナイカト思ヒマスガ、是ハ私書イテ持ツテ來タノデスガ、胎兒ハ相續權ガナイト云フヤウナコトヲ言ツテ、戸籍及ビ寄留ノ議會ニ對シ回答ヲ出シテ居ル、胎兒ハ直系卑屬ノ中ニ含マレナイモノト思料ス、此ノ段回答申上候ト云フヤウナ回答ガアル、ソレカラ斯ウ云フ問題ニナツタノデアリマス、ソコデ遍モ判決ガアリマスルト、立法ノ方法ヨリコトニナツタ考ヘル、ソコデソレヲ救答シテ居リマシタケレドモ、ソレハ斯ウ云大審院ノ判例ニ從フト云フコトガ、司法省ノ態度トシテモ執ルベキ所デヤナイカ、サレテ居ル次第デアリマシテ、サウ云フ状態ニナリマスルト、司法省ト致シマシテハ、

○古島委員 御説明御尤モデアリマスガ、方カラ自分ノ意思ニ依ツテ相續人ヲ排除シタ云フヤウナ場合ハ、大審院ノ判決ガ宜イノデアリマス、又被相續人ノ意思ニ依ラザル戰死デアルトカ、死亡デアルト云フヤウナ時ニハ、司法省及ビ學者ノ通說ガ正當デアツテ、何レヲモ活カスヤウニセネバ本今度ハ法案ニ付テ一言承リタイノデアリマス、成程サウ云フ御考ヘカラコチラニ出シマシタヤウナ此ノ法案ヲ出シマスルト、ドウカラ自身ノ意思ニ依ツテ相續人ヲ排除シタノガ間違ヒナゾ、サウ云フ被相續人ノ方カラ自ら譯デアリマス

○古島委員 御説明御尤モデアリマスガ、方カラ自分ノ意思ニ依ツテ相續人ヲ排除シタ云フヤウナ場合ハ、大審院ノ判決ガ宜イノデアリマス、又被相續人ノ意思ニ依ラザル戰死デアルトカ、死亡デアルト云フヤウナ時ニハ、司法省及ビ學者ノ通說ガ正當デアツテ、何レヲモ活カスヤウニセネバ本今度ハ法案ニ付テ一言承リタイノデアリマス、成程サウ云フ御考ヘカラコチラニ出シマシタヤウナ此ノ法案ヲ出シマスルト、ドウカラ自身ノ意思ニ依ツテ相續人ヲ排除シタノガ間違ヒナゾ、サウ云フ被相續人ノ方カラ自ら譯デアリマス

○古島委員 御説明御尤モデアリマスガ、方カラ自分ノ意思ニ依ツテ相續人ヲ排除シタ云フヤウナ場合ハ、大審院ノ判決ガ宜イノデアリマス、又被相續人ノ意思ニ依ラザル戰死デアルトカ、死亡デアルト云フヤウナ時ニハ、司法省及ビ學者ノ通說ガ正當デアツテ、何レヲモ活カスヤウニセネバ本

<p>度謳ハナケレバナラヌコトニナツタノデアリマス、サウナリマシタ時ニドウ云フヤウナ言葉ヲ持ツテ來ルカト云フト、ヤハリ原則ニ書イテアル言葉ヲ持ツテ來タ方ガ大體ニ於テ今マデ慣レテ、ソレヲ適用サレテ來タノダカラ、其ノ方ガ妥當デハナイカ、斯ウ云フ所カラ之ヲ又繰返シテ來タ譯デアリマシテ、成程形トシテハ適當デナイデハナイカト云フ御議論モアリ得ルト思ヒマスガ已ムヲ得ザル結果斯様ニ致シマシタモノト御承知願ヒマス</p>
<p>○古島委員 代襲相續デ司法省ガ御心配ナル各項ノ場合ニ、是ダケノ條項ヲ入レバ全部救濟出來ルト云フ思召デスカ、代襲相續申ノ一部ハ救濟ガ出來ルデアリマセウガ、他ノ部分ハ是ハ見殺シニスルト云フコトニナルノデハアルマイカ、司法省ハ全部救濟出來ルト云フ積リデ此ノ法律ヲ出シタカドウカ、ソコヲ承リタイ</p> <p>○坂野政府委員 大體ニ於テ全部救濟出來ルト云フ考ヘデ出シマシタ</p>
<p>○古島委員 トンデモナイトコトデアリマス、例モウ少シ氣が付イテ戴カヌト困リマス、例ヘバスフ云フコトハドウナリマスカ、實際カラ申シマスト、世ノ中ニ準養子ト云フモノガアリマス、是ハ一切ノコトニ通曉シテ居ラレル大森次官ナラバ能ク御分リニナツト籍デアリマスカラ中々養子縁組ノ手續ヲ致サナインデアリマス、實際ハ準養子ニ致シマシテモ届出ヲ出サズニ置ク、其ノ中ニ女房ヲ貰フ、女房ヲ貰フト子供ガ出來ル、子供ガ出來テソレカラ後ニ是デハナラスト云フノデ準養子ノ届出ヲ致シマス、ソコデ</p> <p>○坂野政府委員 只今ノ問題ハ養子ノ届出古島委員 トンデモナイトコトデアリマスカラ已ムヲ得ナイ譯デアリマス</p>
<p>○古島委員 已ムヲ得ナイデ切捨テラレバ一向代襲相續ヲ救濟スルコトニハナリマスノガアリマス、是ハ一切ノコトニ通曉シテ居ラレル大森次官ナラバ能ク御分リニナツト籍デアリマスカラ中々養子縁組ノ手續ヲ致サナインデアリマス、實際ハ準養子ニ致シマシテモ届出ヲ出サズニ置ク、其ノ中ニ女房ヲ貰フ、女房ヲ貰フト子供ガ出來ル、子供ガ出來テソレカラ後ニ是デハナラスト云フノデ準養子ノ届出ヲ致シマス、ソコデ</p> <p>○古島委員 トコトナデアリマスカラ已ムヲ得ナイ譯デアリマス</p> <p>○古島委員 已ムヲ得ナイデ切捨テラレバ一向代襲相續ヲ救濟スルコトニハナリマスノガアリマス、是ハ一切ノコトニ通曉シテ居ラレル大森次官ナラバ能ク御分リニナツト籍デアリマスカラ中々養子縁組ノ手續ヲ致サナインデアリマス、實際ハ準養子ニ致シマシテモ届出ヲ出サズニ置ク、其ノ中ニ女房ヲ貰フ、女房ヲ貰フト子供ガ出來ル、子供ガ出來テソレカラ後ニ是デハナラスト云フノデ準養子ノ届出ヲ致シマス、ソコデ</p> <p>○古島委員 トコトナデアリマスカラ已ムヲ得ナイ譯デアリマス</p> <p>○古島委員 已ムヲ得ナイデ切捨テラレバ一向代襲相續ヲ救濟スルコトニハナリマスノガアリマス、是ハ一切ノコトニ通曉シテ居ラレル大森次官ナラバ能ク御分リニナツト籍デアリマスカラ中々養子縁組ノ手續ヲ致サナインデアリマス、實際ハ準養子ニ致シマシテモ届出ヲ出サズニ置ク、其ノ中ニ女房ヲ貰フ、女房ヲ貰フト子供ガ出來ル、子供ガ出來テソレカラ後ニ是デハナラスト云フノデ準養子ノ届出ヲ致シマス、ソコデ</p> <p>○古島委員 トコトナデアリマスカラ已ムヲ得ナイ譯デアリマス</p> <p>○古島委員 届出ハ直グスルノデス、第一ノ例ノ方ハ分り易ク申上ガテサウ言ツタノデ</p>

陷ヲ補フヨリ外ナイト私共今日デハ存ジテ
居ル次第アリマス。

○古島委員 眼光紙背ニ徹スル大森次官ト
シテハ、余リニ鑑ナ御答辯デアリマス、決
シテ舉足ヲ取ルノデハアリマセヌカラ、下
ウゾ其ノ御積リデ御聽キヲ願ヒタイノデア
リマス、私ハ此ノ代襲相續ニ付テ殆ンド凡
ユル場合ガ救濟出來ルト云フ一案ヲ持ツテ
居リマス、ソレハ斯ウ云フ風ニシタラドウ
カト云フコトヲ申上げマスカラ、ドウカ御
研究ノ上デ、ソレデモ是ガ抜ケルデハナイ
カト云フコトガアツタナラバ、後デ一ツ御
相談ニ應ジタイト思フノデアリマス、私ハ
一年間ドウ云フヤウニ書イタラ宜カラウカ
ト、色々ノ例ヲ持ツテ來マシテ、ソレガ入ル
カ入ラヌカデ隨分研究シタノデアリマスガ、
第九百七十四條ノ末項ニ、今司法省デ改正ヲ
サレルト云フ其ノ條項ニ替ヘルニ、斯ウ云フ
言葉ヲ入レテ見タラ如何デアリマセウカ、「前
項ノ規定ハ家督相續人タルヘキ者ノ相續權
ヲ失ヒタル原因カ被相續人ノ意即ニ起因スル
場合ニ於テ被相續人ノ直系卑族ニアラサル
者及ヒ當時胎兒タリシ者ニ對シテハ此限り
ニアラス」又ハ「之ヲ適用セス」斯ウ云フ條
項ニスレバ、恐ラクハ大審院ノ判例ノヤウ
ナ場合ニ於テハ——此ノ養子縁組ノ廢除ノ
時ニ於テモアノ判例ノヤウニスレバ被相續
人ノ意思ニ基イテ相續權ヲ喪失致シタノデ
アリマスルカラ、被相續人ノ意思ニ起因シ
タル相續權喪失トシテ是ハ代襲相續權ガナ
場合デアリマスルカラ、是ガ全部入ルノデ
アリマス、サウ致シマスルト、今度ハ法律

ト照シ合セテ、此ノ法律ノ九百七十四條ノ中
ニハ是ハ極ク簡單ニ書イテアツテ、ココ
ニハ「第九百七十條及ヒ第九百七十二條ノ
規定ニ依リテ家督相續人タルヘキ者カ家督
相續ノ開始前ニ死亡シ又ハ其相續權ヲ失ヒ
タル場合ニ於テ其者ニ直系卑屬アルトキ
ハ」ト書イテアル、サウシテ「其者ニ直系
卑屬アルトキハ其直系卑屬ハ第九百七十條
及ヒ第九百七十二條ニ定メタル順序ニ從ヒ

其者ト同順位ニ於テ家督相續人ト爲ル」ト
書イテアルノデゴザイマス、「其者」ト云フ
ノハ相續權ヲ失ヒタル人デアリマス、即チ
相續權ヲ失ヒタル其ノ時ニ直系卑屬ガアル時
シタニツノ場合ニ於テ、其ノ直系卑屬タル
長男ハ相續權ナク、却テ私生子ノ方ガ相續
權デアルト云フコトニナルノハ、極メテ不都
合デハナイカ、其ノ直系卑屬ニ相續サセル
ト云フノガ此ノ法律ニ一致スルノデハナイ
カト云フノガ私ノ質問ノ狙ヒ所ナノデアリ
マス、私ノ言フヤウニ致シマスレバ此ノ法律
トモ一致スルノデアリマス、サウシテ司法
省ノ惧レテ居リマスル色々ノ場合ハ之ニ包
含サレテ、極メテ圓滿ニ行クノデハアルマ
イカト私ハ思フノデアリマス、今日ハ貴族
院ノ方ヲ通ツテ來タ此法律案デアルカラモ
テ、又貴族院ニ送リ戻シテ協議ヲシテモ、是ハ
是ガ親族會ニ依ル後見人ノ選任ト誤ラレ
テ、其ノ儘届出ラレル虞ガアル、是ハ一遍
届出ヲシテシマフト、モウ取消シヤウガ
ナイノデアリマス、如何ニシテ取消ラス
ルカト云フト、後見人タル身分ガナイト云
ナイガ、私ハ是カラデモダ避クハナイト思
ヒマス、實際ニ於テハ衆議院デ之ヲ修正シ
シロト云フ訴訟ヲ起シマシテモ、此ノ訴訟
ハ法律關係ヲ決スルダケデ——法律關係ヲ
決メルト申シマシテモ、甲ハ乙ノ後見人ニ

大イニ奮發シテ、代襲相續人ヲ救濟スル途
ヲ講ジテ戴キタイト思フノデアリマスガ、
御考ヘハ如何デアリマスカ

○大森政府委員 其ノ點ニ付テソレデハ一
寸懇談的ニ……
○野村委員長 ソレデハ一寸速記ヲ止メテ
テ……
〔速記中止〕

○野村委員長 ソレデハ速記ヲ始メテ下サ
イ

○古島委員 ソレデハ此ノ問題ハ止メマシ
テ、次ニ戸籍法デ一言承ツテ置キタイト思
ヒマス、是ハ此ノ前ニモ坂野民事局長ト御
話ヲ願ツテ、坂野民事局長モ大イニ御賛成
ヲ願ヘタヤウニ私ハ思ツテ喜ンデ居ツタノ
デアリマス、所ガ今度ハ親族會決議無効ノ訴ヘ
バト云ツテ今度ハ親族會決議無効ノ訴ヘ
シマツテ、是ハ出來ヌノデアリマス、サレ
シタニツノ場合ニ於テ、其ノ直系卑屬タル
長男ハ相續權ナク、却テ私生子ノ方ガ相續
權デアルト云フコトニナルノハ、極メテ不都
合デハナイカ、其ノ直系卑屬ニ相續サセル
ト云フノガ此ノ法律ニ一致スルノデハナイ
カト云フノガ私ノ質問ノ狙ヒ所ナノデアリ
マス、私ノ言フヤウニ致シマスレバ此ノ法律
トモ一致スルノデアリマス、サウシテ司法
省ノ惧レテ居リマスル色々ノ場合ハ之ニ包
含サレテ、極メテ圓滿ニ行クノデハアルマ
イカト私ハ思フノデアリマス、今日ハ貴族
院ノ方ヲ通ツテ來タ此法律案デアルカラモ
テ、又貴族院ニ送リ戻シテ協議ヲシテモ、是ハ
是ガ親族會ニ依ル後見人ノ選任ト誤ラレ
テ、其ノ儘届出ラレル虞ガアル、是ハ一遍
届出ヲシテシマフト、モウ取消シヤウガ
ナイノデアリマス、如何ニシテ取消ラス
ルカト云フト、後見人タル身分ガナイト云
ナイガ、私ハ是カラデモダ避クハナイト思
ヒマス、實際ニ於テハ衆議院デ之ヲ修正シ
シロト云フ訴訟ヲ起シマシテモ、此ノ訴訟
ハ法律關係ヲ決スルダケデ——法律關係ヲ
決メルト申シマシテモ、甲ハ乙ノ後見人ニ

アラザルコトヲ確認スベシト云フ訴訟文ニ
ナツテ參リマス、是ダケノ訴訟ニナツテ參
リマスト、之ヲ戸籍ニ持ツテ行ツテモ戸籍
簿カラ之ヲ扶殺スルコトが出來ナイ、然ラ
バト云ツテ、今度ハ後見人デナイコトヲ確
認シロト云フコトデヤツテ見マスト、後見
人カ後見人デナイカト云フコトハ身分關係
デアツテ法律關係デハナイ、其ノ人ノ事實
問題デアル、事實ノ有無ニ付テハ是ハ確認
訴訟ノ目的ニ相成ラスト云フコトニナツテ
シマツテ、是ハ出來ヌノデアリマス、サレ
バト云ツテ今度ハ親族會決議無効ノ訴ヘ
スルト云フト、親族會議ト云フモノハ實際
ハナイノデアリマス、而モ訴ヘラ起シテヤ
シタニツノ場合ニ於テ、其ノ直系卑屬タル
長男ハ相續權ナク、却テ私生子ノ方ガ相續
權デアルト云フコトニナルノハ、極メテ不都
合デハナイカ、其ノ直系卑屬ニ相續サセル
ト云フノガ此ノ法律ニ一致スルノデハナイ
カト云フノガ私ノ質問ノ狙ヒ所ナノデアリ
マス、私ノ言フヤウニ致シマスレバ此ノ法律
トモ一致スルノデアリマス、サウシテ司法
省ノ惧レテ居リマスル時ニ何故ニ親族會
招集ノ決定ノ正本若クハ謄本ノ添付ヲサセ
ナインハ極メテ遺憾ニ思フノデアリマス、
私ハ曾テ斯ウ云フコトヲ申上げマシタ、後
見人ノ就任ノ届出ヲスル時ニ何故ニ親族會
招集ノ決定ノ正本若クハ謄本ノ添付ヲサセ
ナインノデアルカ、此ノ親族會ニ於テ決定シ
タ正本若クハ謄本ヲ添付サセナイ結果非常
テ迷惑ヲ蒙ムル場合ガアル、例ヘテ申シマス
ルト、親族會——是ハ法律上ノ親族會ニアラ
ズシテ、所謂親族寄合ニ於ケル所ノ申合セ、
是ガ親族會ニ依ル後見人ノ選任ト誤ラレ
テ、其ノ儘届出ラレル虞ガアル、是ハ一遍
届出ヲシテシマフト、モウ取消シヤウガ
ナイノデアリマス、如何ニシテ取消ラス
ルカト云フト、後見人タル身分ガナイト云
ナイガ、私ハ是カラデモダ避クハナイト思
ヒマス、實際ニ於テハ衆議院デ之ヲ修正シ
シロト云フ訴訟ヲ起シマシテモ、此ノ訴訟
ハ法律關係ヲ決スルダケデ——法律關係ヲ
決メルト申シマシテモ、甲ハ乙ノ後見人ニ

親族會招集ト云フモノハ裁判所ノ方デ許可ヲ致シマセヌ、サウナルト一遍虚偽ノ後見人ノ届出ガアリマスト、如何トモ方法ガナイ、ソレカラモウ一ツノ例ハ、是ハ實際ハ親族會ノ招集ヲ致シタノデアルガ、甲ノ場所ニ於テ親族會ヲ開クベシト云フノヲ、乙ノ場所ニ於テ勝手ニ親族會ヲヤツテ、ソレヲ其ノ儘届出シテシマヒマス、戸籍吏ハ知リマセヌカラ之ヲ受付ケマス、今度ハ甲ノ場所ニ於テ親族會ヲ開クベシト云フノデ、甲ノ場所ニ集ツテ親族會ヲヤツタ連中ハ、届出ヲシテモ、其ノ以前ニ届出ガアルト、本當ノ親族會ノ方ガ無効ニナル、コチラ得後見人ヲ選任シタカラト云フ届出ヲシテ参ルト、既ニ届出ガアツタト云フコトデ駄目ニナツテシマフ、之ヲ救濟スル時ニハドウスルカト云フト、ヤハリ就任ノ届出ノ時ニハ親族會招集ノ決定ノ正本若クハ謄本ヲ添付サセルコトニ户籍法デ特ニ之ヲ記入スレバ此ノ間違ヒガナク、救濟出來ルシダト思ヒマスガ、ソコヨ改善シテ戴クト云フコトニハ參ラヌカドウカ、若シクハソンナコトヲセスデモ宜オト云フ便法ガアルナラバ、ソレヲ承リタイ
○坂野政府委員 是ハ研究致シマシテ、後刻御答へ致シマス

○古島委員 ソレデハ私ハ代襲相續ノ分ト今ノ分ヲ御研究願ツテ御返事ヲ頂戴シテカラ、一部殘ツテ居ル質問ヲ致シタイト思ヒマスカラ、留保致シマシテ、是デ止メテ置キマス

○野村委員長 ソレデハ次ニ池田君

○池田(清)委員 此ノ度ノ規定ニ付テヘ、父母共ニ知レナイ場合ガ豫想サレテ居ラヌヤウデアリマスガ、是ハ具體的ノ例デアリマ

ス、例へバ棄子ノヤウナ場合ハ、認知ノ方
式及ビ認知ノ訴ヘラ起ス場合ノ相手方ト、
此ノ法律デハ實際父モ母モ分ラヌ、嫡出子
デアツタカ嫡出子デナイカ、ドツチデアツ
タカモ分ラヌヤウナ場合トガ豫想サレテ居
ツクノデアリマセウガ、棄子ノ場合ハ一寸
困ルノデアリマス、斯ウ云フ場合ハ此ノ規
定デハ救濟ガ出來ナイデハナイカト思フノ
デスガ如河デゴザイマセウカ

マスガ、併シ是ハ事實ニ反シテ居ルト思フノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ之ヲ救濟スル規定ヲ此ノ中ニ設ケルコトガ宜イデヤナルノ子デアレバ認知スルニハ承諾ガナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマスガ、更ニ八百三十五條デハ子ハ認知ノ訴ヘラ起スコトガ出來ルトアリマスガ、滿二十歳ニナツタ場合ニ於テハ八百三十五條ノ三年ヲ經過シテ居ルト比較シテ届出ヨリ三年経過シテモ宜ノデアルカ、或ハ知ツタ時カラト云フコトナラバ、二十歳ニナツテモ誰カラ相手ニシテ——國家ナリ、檢事ナリヲ相手ニシテ父母共ニ知レヌ場合デモ認知ヲセル方法ヲ設ケル必要ガアリハシナイカト思フノデアリマス、是ハ凡ユル方面ニ付テ此ノ規定方全然缺如サレテ居ルノデアリマス、生レタ子供ニ付テハ洵ニ氣ノ毒デアリマス、之ニ對スル設備ヲ此ノ條項デ御規定ナサルコトガ出來ヌトスレバ、民法ノ何處カデ或ハ戸籍法ノ何處カデ之ヲ救濟ナサル御考ヘガアツテ然ルベキダト思フノデアリマス、是ハ三百人ヤ五百人デキカヌト思ヒマス、特ニ近頃ハ此ノ傾向ガ多イト思ヒマスガ、ドウ云フ考ヘデアリマセウカ、規定ナサル意思ハオアリデアリマスカ

○坂野政府委員 只今ノ點、若シ棄子ノ父母ガ分リマシタナラバ、ソレハ親子ノ確認ノ訴ヘガ出來ル譯デアリマス、若シ母ダケレバ、私生子ノ確認ヲ致シマシテ、ソレカラ此ノ規定ニ依ツテ認知ノ訴ヘガ出來ルノデアリマス

○池田(清)委員 サウスルト、父母共ニ分ラヌ場合ニハ、是ハ大キクナツテカラ確カ

ニ養育院デ育ツタンダ、本當ノ親ガアル筈
ダト思フガ分ラヌ場合ダト、效濟ノ途ガナ
イト云フコトニナリマスカ
○坂野政府委員 父母ガ分ラナイノデアリ
マスカラ、一體訴ヘノ起シヤウガナイ譯アリ
隨テ誰ノ子カ決メヤウガナイ譯アリマス
カラ已ムヲ得ナイノデアリマス
○池田(清)委員 己ムヲ得ナイデハ國家ト
シテ私ハ齊マヌノデヤナイカト思ニマス、

○坂野政府委員 父母ガ分ラナイノデアリマスカラ已ムヲ得ナイノデアリマス
○池田(清)委員 己ムヲ得ナイデハ國家トシテ私ハ濟マヌノデヤナイカト思ヒマス、是ハ事實トシテアルノデアリマス、斯フ云場合ニハ養育院ノ責任者ガ、サウ云フ名前ヲ、誰カ慈善的ニヤツテ居ルト思ヒマス、是ハドウモ事實ニ即セザル譯デ非常ニ困ルノデアリマス、是ハホンノ實際ノ例ヲ私ハ取上げテ申上ゲマスガ、之ニ付テハ棄兒ヲ救濟スル方法ニ付テハ尙ホ色々アルノデアリマシテ、世界ニ二箇所シカナイト云フ例デ、滿洲ノ奉天ノ同善堂ト云フノハ、日清戦争時代ノ左寶貴ト云フ將軍ノ慈善行爲ニ依ツテ、設備サレテ救濟方法ガ出來テ居ルノデアリマス、此ノ頃ノ男ト女ノ結婚適齡ノ非常ナル差異等ヲ見タ時ニ、是ガ非常ニ多イノデアリマシテ、之ニ付テハ然ルベキ方法ヲ、分ラヌカラト云フコトデ捨テ置クト云フコトハ、國家トシテ餘リ親切ナヤリ方デナイト思ヒマズ、之ニ付テ何等カ御考究ノ結果、適當ナ規定ヲナスツテ、戴クコトニ致シタノデアリマス、現ニ養育院等ハ、係員ガ自分ノ子トシテ届ケルト云フコトハ、慈善デヤツテ居ルケレドモ、事實ニ反スルコト甚ダシイノデアリマス、國家トシテハ不備デヤナイカト思フノデアリマス、之ニ付テ然ルベキ御考ヘ、各國等ノ立法例等ガアレバ、一ツ御調査ノ上然ルベキ規定ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス

○坂野政府委員 親子ノ關係ノ確定シテ其ノ棄兒ガアツタ場合ニドウ取扱フカト云フト、戸籍法ニ規定ガアリマス、即チ第七十八條ニ「棄兒ヲ發見シタル者又ハ棄兒發見ノ申告ヲ受ケタル警察官ハ二十四時間内ニ其旨ヲ市町村長ニ申出ヅルコトヲ要ス前項ノ申出アリタルトキハ市町村長ハ氏名ヲ命シ本籍ヲ定メ且附屬品、發見ノ場所、年月日其他ノ狀況及ヒ氏名、男女ノ別、出生ノ推定年月日竝ニ本籍ヲ調書ニ記載スルコトヲ要ス其調書ハ之ヲ届書ト看做ス」斯ウシテ名前ダケハ附クコトニナル譯デアリマス、親子ノ確定ハ分ラナイカラ出來ナイノデアリマス

○池田(清)委員 私ハ此ノ程度デ止メマスガ、實際ニハ届ダケガアツテモ、總テノ適條規定ガ缺如シテ居ルト思フノデアリマス、然ルベク御考案ヲ御願ヒスト云フ程度デ私ノ質問ヲ終リマス

○野村委員長 午後ハ豫算モアリマスカラ本日ハ是デ止メマス、明日ハ午前十時カラ開會シ午前午後トモ開會スルコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時五分散會